

委 託 業 務 設 計 書						
施 行 年 度	2 0 1 9年度	契 約 番 号		伊賀市		
		2019000765				
業 務 名	2 0 1 9年度 社会資本整備総合交付金事業 橋梁長寿命化修繕計画策定事業 橋梁点検業務委託 上野—2工区				設 計 番 号	
					31-39-0024-3-401	
履 行 場 所	伊賀市 上野 管内他				設 計 ・ 積 算 年 月 日	
業 務 区 分	設計業務				積算者	検算者
設 計 金 額	円 内消費税相当額 円					
工 期	契約日から145 日	延 長	m	幅 員	m	
業 務 の 大 要					起 工 理 由	
橋梁点検 橋梁点検（L=15.0m未満）梯子 72 橋 橋梁点検（L=15.0m以上）梯子 25 橋 橋梁点検（L=15.0m以上）点検車 4 橋 橋梁点検（跨線橋）梯子 1 橋 健全度評価（L=15.0m未満） 72 橋 健全度評価（L=15.0m以上） 30 橋					別 紙	

設 計 内 訳 表

費目	工事 区分	工種	種別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
設計・解析・調査業務								
01:設計・解析・調査								
橋梁点検業務委託				式				
					1.000			
直接人件費				式				第 0001 号 明細表
					1.000			
旅費交通費				式				第 0002 号 明細表
					1.000			
直接経費（成果品作成費分）				式				
					1.000			
直接原価				式				
					1.000			
その他原価				式				
					1.000			
業務原価				式				
					1.000			

設 計 内 訳 表

費目	工事 区分	工種	種別	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	一般管理費等			式				
					1.000			
設計・解析・調査業務価格				式				
					1.000			
消費税及び地方消費税相当額				式				
					1.000			
業務委託料				式				
					1.000			

[設計・解析・調査]

第 0001 号 明細表 直接人件費					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
業務計画書作成 (100橋以上)	業務				第0001号単価表
		1.000			
図面作成	橋				第0002号単価表
		102.000			
現地踏査	橋				第0003号単価表
		102.000			
関係機関協議	橋				第0004号単価表
		1.000			
橋梁点検 橋長15m未満 梯子	橋				第0005号単価表
		72.000			
橋梁点検 橋長15m以上 梯子	橋				第0006号単価表
		25.000			
橋梁点検 橋長15m以上 点検車	橋				第0007号単価表
		4.000			
橋梁点検 跨線橋	橋				第0008号単価表
		1.000			

[設計・解析・調査]

第 0001 号 明細表 直接人件費					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
健全度評価(15m未満)	橋				第0009号単価表
		72.000			
健全度評価(15m以上)	橋				第0010号単価表
		30.000			
点検調書作成	橋				第0011号単価表
		102.000			
打合せ協議	業務				第0012号単価表
		1.000			
合 計					

[設計・解析・調査]

第 0002 号 明細表 旅費交通費					1 式 (上段 : 前 回 下段 : 今 回)
細 別 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ライトバン運転	日				第0001号施工単価表
橋梁点検車運転経費	日				第0013号単価表
合 計					

ライトバン運転					第 0001 号 施工単価表
					1.000 日 当り
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ガソリン レギュラー80オクタン価以上	リットル				
ライトバン	時間				
ライトバン	日				
雑品	式	1.000			
合計	日	1.000			
単位当り	日	1.000	当り		

SJ0010 業務計画書作成（100橋以上）		第 0001 号単価表 1 業務 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師（A）	人				
技師（C）	人				
技術員	人				
合 計	業務	1.000			
単位当り	業務	1.000	当り		

SJ0020 図面作成		第 0002 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0030 現地踏査		第 0003 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0140 関係機関協議		第 0004 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0050 橋梁点検 橋長15m未満 梯子		第 0005 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0100 橋梁点検 橋長15m以上 梯子		第 0006 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0110 橋梁点検 橋長15m以上 点検車		第 0007 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0150 橋梁点検 跨線橋		第 0008 号単価表 1 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	1.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0080 健全度評価(15m未満)		第 0009 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0120 健全度評価(15m以上)		第 0010 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (A)	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0060 点検調書作成		第 0011 号単価表 10 橋 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
技術員	人				
合 計	橋	10.000			
単位当り	橋	1.000	当り		

SJ0070 打合せ協議		第 0012 号単価表 1 業務 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任技師	人				
技師 (B)	人				
技師 (C)	人				
合 計	業務	1.000			
単位当り	業務	1.000	当り		

SJ0130 橋梁点検車運転経費		第 0013 号単価表 1 日 当り			
名 称	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
一般運転手	人				
軽油 一般用	リットル				
橋梁点検車賃料	日				
合 計	日	1.000			
単位当り	日	1.000	当り		

数量総括表

[illegible]

番号	作業用番号	施設名	施設名_フリガナ	路線名	架設年度_西暦	架設年度_推測	橋長(m)	幅員(m)	起点側位置_緯度	起点側位置_経度	点検評価
1	BR0-242161-00001	平尾橋	(ヒラオバシ)	市道西大手長田線	1966		8.4	5.0	34.765972度	136.103472度	梯子
2	BR0-242161-00002	山神1号小橋	(ヤガミイチゴウバシ)	市道印代山神線	1958		12.0	4.3	34.792111度	136.142166度	梯子
3	BR0-242161-00003	山神小橋	(ヤガミコバシ)	市道印代山神線	1978		12.0	8.2	34.792083度	136.141988度	梯子
4	BR0-242161-00004	山王橋	(サンオウバシ)	市道千歳千戸線	2013		2.5	5.3	34.795861度	136.165333度	梯子
5	BR0-242161-00005	高塚橋	(タツカバシ)	市道中友生荒木線	1961		6.0	3.0	34.755277度	136.172777度	梯子
6	BR0-242161-00006	高塚1号橋	(タツカイチゴウバシ)	市道中友生荒木線	1961		2.2	4.4	34.756861度	136.172250度	梯子
7	BR0-242161-00007	広戸橋	(ヒロバシ)	市道中友生荒木線	1961		6.4	3.5	34.758555度	136.170250度	梯子
8	BR0-242161-00008	荒内1号橋	(コウナイイチゴウセン)	市道中友生荒木線	不明	1991～2000年	3.0	14.0	34.765472度	136.162583度	梯子
9	BR0-242161-00058	平野川橋	(ヒラノガワバシ)	市道花之木新居線	1991		14.1	7.5	34.771527度	136.106500度	梯子
10	BR0-242161-00060	日之出橋	(ヒノデバシ)	市道諏訪新居線	1975		10.4	7.0	34.814055度	136.103666度	梯子
11	BR0-242161-00061	補陀落橋	(ホダラクバシ)	市道諏訪新居線	1977		6.5	8.1	34.788333度	136.090555度	梯子
12	BR0-242161-00062	祝橋	(イワイバシ)	市道丸之内伊賀上野橋線	1957		2.6	13.7	34.776305度	136.129638度	梯子
13	BR0-242161-00064	妥女橋	(ウネメバシ)	市道丸之内伊賀上野橋線	1962		2.6	11.7	34.779194度	136.129444度	梯子
14	BR0-242161-00069	河内広橋	(カワチコウバシ)	市道西山島ヶ原線	1987		12.0	8.7	34.792777度	136.085555度	梯子
15	BR0-242161-00070	防垣内橋	(ホウカキウチバシ)	市道西山島ヶ原線	1986		4.0	8.7	34.793333度	136.077777度	梯子
16	BR0-242161-00071	西出橋	(ニシデバシ)	市道西山島ヶ原線	1971		6.6	7.1	34.792777度	136.074166度	梯子
17	BR0-242161-00077	下川原橋	(シモガワラバシ)	市道三田服部寺田線	不明	1981～1990年	2.0	1.9	34.783000度	136.130777度	梯子
18	BR0-242161-00079	浦出橋	(ウラデバシ)	市道大谷三田野間線	1958		7.2	3.4	34.793944度	136.126444度	梯子
19	BR0-242161-00080	堂山橋	(ドウヤマバシ)	市道大谷三田野間線	1958		2.5	3.8	34.792861度	136.118972度	梯子
20	BR0-242161-00081	出晴橋	(デハレバシ)	市道印代一之宮線	1959		2.1	3.4	34.788472度	136.145222度	梯子
21	BR0-242161-00083	鉾坪南橋	(ホコツホミナミバシ)	市道印代一之宮線	1959		2.0	3.0	34.786944度	136.152555度	梯子
22	BR0-242161-00084	前橋	(マエバシ)	市道印代一之宮線	1965		2.2	3.5	34.787027度	136.155527度	梯子
23	BR0-242161-00086	中出橋	(ナカデバシ)	市道山神土橋西條線	1964		3.6	5.1	34.798333度	136.143833度	梯子
24	BR0-242161-00087	桑名瀬橋	(クワナセバシ)	市道山神土橋西條線	1958		13.3	4.5	34.791944度	136.150000度	梯子
25	BR0-242161-00090	川久保橋	(カワクホバシ)	市道東條羽根線	1959		2.2	4.1	34.792416度	136.151722度	梯子
26	BR0-242161-00091	堂ノ木橋	(ドウノキバシ)	市道東條羽根線	1959		2.1	4.1	34.791416度	136.149777度	梯子
27	BR0-242161-00093	御墓山橋	(ミハカヤマバシ)	市道佐那具川西線	1994		5.0	7.9	34.802644度	136.174647度	梯子
28	BR0-242161-00094	宮ノ前橋	(ミヤノマエバシ)	市道荒木真泥線	不明	1971～1980年	2.0	3.1	34.772527度	136.167555度	梯子
29	BR0-242161-00130	地藏院新橋	(ジゾウインシンバシ)	市道西高倉東高倉線	1964		11.7	3.4	34.789166度	136.099722度	梯子
30	BR0-242161-00142	上川原橋	(カミガワラバシ)	市道東條佐那具線	1979		6.6	4.0	34.798552度	136.160822度	梯子
31	BR0-242161-00143	大多田橋	(オオタダバシ)	市道川東佐那具線	1958		3.5	5.4	34.806111度	136.176166度	梯子
32	BR0-242161-00144	清水橋	(シミズバシ)	市道川東佐那具線	1958		3.3	4.0	34.805444度	136.169388度	梯子
33	BR0-242161-00189	此坪橋	(コノツホバシ)	市道此坪線	1995		6.2	5.7	34.778944度	136.120050度	梯子
34	BR0-242161-00200	桜町橋	(サクラマチバシ)	市道桜町三田地線	1965		7.9	1.5	34.790197度	136.126863度	梯子
35	BR0-242161-00203	神社前橋	(ジンジャマエバシ)	市道石橋吉ヶ谷線	1976		11.0	2.7	34.795863度	136.127130度	梯子
36	BR0-242161-00215	佐那具1号橋	(サナグイチゴウキョウ)	市道佐那具千歳線	1986		3.4	4.8	34.799083度	136.167500度	梯子
37	BR0-242161-00216	口山田橋	(クチヤマダバシ)	市道佐那具千歳線	不明	1971～1980年	2.9	7.5	34.795555度	136.167666度	梯子

38	BR0-242161-00226	中池橋	(ナカイケバシ)	市道中出山田線	1970		6.6	2.7	34.800222度	136.143136度	梯子
39	BR0-242161-00229	水分橋	(ミズヅケバシ)	市道西條東條線	1971		3.5	3.0	34.803969度	136.149380度	梯子
40	BR0-242161-00235	山中橋	(ヤマナカバシ)	市道一之宮寺田線	1982		2.5	3.3	34.786936度	136.161744度	梯子
41	BR0-242161-00458	井堀橋	(イホリバシ)	市道十王下井堀線	1976		4.0	4.3	34.760111度	136.112305度	梯子
42	BR0-242161-00462	久保橋	(クホバシ)	市道久保大田線	1977		4.0	4.3	34.763638度	136.107083度	梯子
43	BR0-242161-00466	内屋敷橋	(ウチヤシキバシ)	市道中村下番屋線	1977		6.0	4.6	34.754777度	136.109111度	梯子
44	BR0-242161-00468	鳥居橋	(トリイバシ)	市道鳥居一本杉線	1975		2.0	4.7	34.755388度	136.111222度	梯子
45	BR0-242161-00490	日内寺橋	(ヒウチデラバシ)	市道日内寺中村線	1989		5.0	3.4	34.786250度	136.101611度	梯子
46	BR0-242161-00497	高樋2号橋	(タカヒニコウバシ)	市道岡出今西線	1980		5.0	2.4	34.788361度	136.110777度	梯子
47	BR0-242161-00502	治田1号橋	(ハッタイチゴウバシ)	市道治田広治田線	1973		6.0	2.0	34.785666度	136.081055度	梯子
48	BR0-242161-00504	石原上橋	(イシハラカミバシ)	市道河内広石原線	1973		8.0	2.2	34.790916度	136.087694度	梯子
49	BR0-242161-00508	下宮西橋	(シモミヤニシバシ)	市道西出下防垣内線	1975		4.0	4.0	34.792638度	136.076638度	梯子
50	BR0-242161-00510	西出之下3号橋	(ニシデノシタサンゴウバシ)	市道西出下1号線	1959		5.0	3.7	34.791361度	136.076666度	梯子
51	BR0-242161-00512	西出之下2号橋	(ニシデノシタニコウバシ)	市道西出下西光寺山線	1965		5.0	3.5	34.792111度	136.075694度	梯子
52	BR0-242161-00523	向山橋	(ムカイヤマバシ)	市道向山下広出線	1971		11.0	4.8	34.818388度	136.111833度	梯子
53	BR0-242161-00530	宮前橋	(ミヤマエバシ)	市道垣内柵ヶ峯線	1968		8.0	4.5	34.821416度	136.112194度	梯子
54	BR0-242161-00533	干谷橋	(ホシダニバシ)	市道干谷1号線	1973		9.0	2.6	34.815777度	136.108361度	梯子
55	BR0-242161-00542	観節2号橋	(カンセツニコウバシ)	市道奥田西山線	1973		6.2	6.4	34.778055度	136.039722度	梯子
56	BR0-242161-00543	長野橋	(ナガノバシ)	市道奥田西山線	1972		5.5	4.6	34.780277度	136.044444度	梯子
57	BR0-242161-00544	奥村橋	(オクムラバシ)	市道奥田西山線	2000		4.4	6.8	34.782500度	136.048333度	梯子
58	BR0-242161-00545	奥寺橋	(オクテラバシ)	市道奥田西山線	2000		3.3	9.7	34.782777度	136.049444度	梯子
59	BR0-242161-00546	東出橋	(ヒガシデバシ)	市道奥田西山線	1990		2.9	9.8	34.781666度	136.051388度	梯子
60	BR0-242161-00547	中矢橋	(ナカヤバシ)	市道奥田西山線	1965		12.6	5.8	34.785277度	136.059166度	梯子
61	BR0-242161-00548	下高坂橋	(シモコウザカバシ)	市道奥田西山線	1966		7.0	4.7	34.787500度	136.068055度	梯子
62	BR0-242161-00549	相場1号橋	(アイバイチゴウバシ)	市道奥田西山線	1965		7.0	4.6	34.787500度	136.068333度	梯子
63	BR0-242161-00550	念仏橋	(ネンブツバシ)	市道中村線	1960		8.1	5.7	34.776388度	136.054444度	梯子
64	BR0-242161-00551	地藏面橋	(ジゾウオモテバシ)	市道中谷線	1958		5.4	2.8	34.765555度	136.043888度	梯子
65	BR0-242161-00567	石谷川橋	(インタニガワバシ)	市道鯛ヶ峯石谷線	1993		12.2	7.7	34.779166度	136.072222度	梯子
66	BR0-242161-01486	岸ノ上橋	(キヒノカミバシ)	市道西明寺一之宮東條線	1972		7.5	11.4	34.794194度	136.155805度	梯子
67	BR0-242161-01487	婦ノ鳥2号橋	(フトリニコウバシ)	市道西明寺一之宮東條線	1990		5.6	9.1	34.795472度	136.155166度	梯子
68	BR0-242161-01488	婦ノ鳥橋	(フトリバシ)	市道西明寺一之宮東條線	1993		5.0	12.8	34.795777度	136.155083度	梯子
69	BR0-242161-01489	婦ノ鳥1号橋	(フトリイチゴウバシ)	市道西明寺一之宮東條線	1993		8.0	10.1	34.796083度	136.155138度	梯子
70	BR0-242161-01493	下出橋	(シモデバシ)	市道西山島ヶ原線	1988		8.0	9.6	34.792777度	136.083055度	梯子
71	BR0-242161-01494	西出之下橋	(ニシデノシモバシ)	市道西山島ヶ原線	1990		5.3	8.6	34.793055度	136.076388度	梯子
72	BR0-242161-01713	無名橋1	(ムメイキョウイチ)	市道東條羽根線	不明	1981～1990年	3.4	5.5	34.789138度	136.149611度	梯子

橋長15m未満 梯子 72橋 平均橋長 5.9 平均幅員 5.6

番号	作業用番号	施設名	施設名_フリガナ	路線名	架設年度_西暦	架設年度_推測	橋長(m)	幅員(m)	起点側位置_緯度	起点側位置_経度	点検評価
1	BR0-242161-01255	長田橋	(ナガタハシ)	市道西大手長田線	1979		172.5	6.5	34.766944度	136.113055度	点検車
2	BR0-242161-01265	長田1号橋	(ナガタ1ゴウハシ)	市道西大手長田線	1979		104.5	6.0	34.767750度	136.114138度	点検車
3	BR0-242161-01278	八反田橋	(ハツタンダハシ)	市道茅町駅四十九新池線	1987		53.1	9.0	34.753527度	136.140888度	点検車
4	BR0-242161-01443	鯛ヶ峯大橋	(タイガミネオハシ)	市道鯛ヶ峯石谷線	1989		171.2	8.3	34.773916度	136.068583度	点検車
5	BR0-242161-01459	鯛ヶ峯跨線橋	(タイガミネコセンキョウ)	市道鯛ヶ峯石谷線	1990		17.7	9.0	34.772777度	136.059722度	梯子 (跨線橋)
6	BR0-242161-00554	丸山橋側道橋	(マルヤマバシソクドウキョウ)	市道子ヶ谷線	1972		23.5	2.6	34.764666度	136.048972度	梯子
7	BR0-242161-01253	矢谷大橋	(ヤタニオオハシ)	市道久米小田線	1999		46.3	16.0	34.772083度	136.140194度	梯子
8	BR0-242161-01254	岩根橋	(イワネハシ)	市道花之木新居線	1967		34.5	6.0	34.740138度	136.109916度	梯子
9	BR0-242161-01264	長田2号橋	(ナガタ2ゴウハシ)	市道西大手長田線	1979		34.1	6.7	34.767916度	136.114250度	梯子
10	BR0-242161-01269	出城橋	(デシヨウハシ)	市道花之木新居線	1992		15.6	4.5	34.783055度	136.102416度	梯子
11	BR0-242161-01292	殿川橋	(トノカワハシ)	市道榎平尾小山線	1955		36.4	3.2	34.765611度	136.049222度	梯子
12	BR0-242161-01307	佐那具橋	(サナグハシ)	市道佐那具波敷野線	1987		75.0	4.0	34.805194度	136.168166度	梯子
13	BR0-242161-01314	金橋2	(カナハシ)	市道三田服部寺田線	1987		63.7	2.0	34.785222度	136.130444度	梯子
14	BR0-242161-01317	谷原橋	(タニハラハシ)	市道大内長田線	1983		20.3	5.8	34.738666度	136.106361度	梯子
15	BR0-242161-01319	金橋1	(カナハシ)	市道三田服部寺田線	1987		39.5	2.0	34.784361度	136.130805度	梯子
16	BR0-242161-01323	尾我名橋	(オガナハシ)	市道東高倉高旗線	1967		20.1	4.2	34.795194度	136.093361度	梯子
17	BR0-242161-01330	谷原橋(歩道橋)	(タニハラハシ)	市道大内長田線	1985		19.7	2.0	34.738666度	136.106361度	梯子
18	BR0-242161-01341	東側橋	(ヒガシカワハシ)	市道木田原東之山線	1968		15.0	3.0	34.791666度	136.096944度	梯子
19	BR0-242161-01346	青木橋	(アオキハシ)	市道垣内榎ヶ峯線	1968		15.5	4.0	34.818666度	136.108111度	梯子
20	BR0-242161-01347	明神橋	(ミヨウジンハシ)	市道高倉神社線	1958		18.2	3.2	34.795222度	136.090944度	梯子
21	BR0-242161-01388	岩井橋	(イワイハシ)	市道花之木小学校線	1967		17.4	4.0	34.737750度	136.103166度	梯子
22	BR0-242161-01409	岩根3号橋	(イワネ3ゴウハシ)	市道婦ヶ岩根2号橋線	1983		21.0	3.0	34.740305度	136.109138度	梯子
23	BR0-242161-01412	農道1号橋	(ノウトウ1ゴウハシ)	市道中丁田泥線	1975		21.5	4.0	34.740194度	136.123083度	梯子
24	BR0-242161-01430	阿遠上橋	(アエンジヨウハシ)	市道大門竹ノ下線	1983		19.6	4.0	34.744777度	136.114972度	梯子
25	BR0-242161-01433	中川原橋	(ナカガワラハシ)	市道中川原樋之口線	2000		30.0	12.0	34.775888度	136.133027度	梯子
26	BR0-242161-01434	樋之口橋	(ヒノグチハシ)	市道中川原樋之口線	2000		29.2	12.0	34.774500度	136.136500度	梯子
27	BR0-242161-01441	岩倉橋	(イワクラハシ)	市道西村橋岩倉線	1989		38.0	5.0	34.779805度	136.101722度	梯子
28	BR0-242161-01444	相田川橋	(オウダガワハシ)	市道鯛ヶ峯石谷線	1989		22.0	8.1	34.777444度	136.068583度	梯子
29	BR0-242161-01450	北平野橋	(キタヒラノハシ)	市道服部北平野線	1999		29.3	12.0	34.771166度	136.140916度	梯子
30	BR0-242161-01453	古出城橋	(フルデシヨウハシ)	市道川原出城線	1983		16.7	5.0	34.781944度	136.105138度	梯子

橋長15m以上 点検車 4 橋 125.3 7.5
橋長15m以上梯子 (うち跨線橋 1 橋) 2 6 橋 28.5 5.7

特 記 仕 様 書

1. 目的

本業務は、伊賀市が管理する橋梁の現状を把握し、橋梁の維持管理に必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

2. 適用図書

本業務の橋梁点検に関する作業については、「伊賀市橋梁点検要領（案）平成 29 年 6 月」によること。

3. 点検従事者について

点検業務に従事する者のうち 1 名は、「三重県橋梁点検技術者講習会」を受講し、受講証明書の交付を受けた者とする。

4. 点検業務について

（1）計画準備

① 業務計画書

- ・伊賀市より貸与された資料等をもとに、業務計画書を作成する。
- ・業務計画書には、「三重県橋梁点検技術者講習会」の受講証明書を添付すること。

② 図面作成

- ・伊賀市により提供された橋梁台帳により、チェックシートの概略図を作成する。
- ただし、橋梁一般図等がない場合は、請負者において現地調査を行い、点検要領に基づく点検に必要な概略図を作成すること。

（2）現地踏査

- ・橋梁点検に先立って現地調査を行い、点検計画を策定するために必要な進入路、交通状況等を把握すること。

（3）関係機関協議

- ・他機関との協議が必要な橋梁については、監督員へ報告すること。

（4）点検

- ・「伊賀市橋梁点検要領（案）平成 29 年 6 月」に基づき点検を行う。また、必要に応じて橋梁台帳の記載事項（塗装面積、高欄の種類、落橋防止施設の種類等）を補完するために現地で調査を行う。なお、支承については、損傷がなくても各支点（橋台・橋脚）で 1 ヶ所写真を撮影すること。
- ・支承等に土砂が被さっている場合は、それを撤去したうえで点検を行うこと。

(5) 点検調書作成

- ・点検結果をもとに、伊賀市橋梁点検要領（案）のチェックシートを清書し、写真等の整理を行う。
- ・点検結果を発注者が提供するエクセルシートに入力すること。

(6) 打合せ

- ・作業計画書をもとに、調査方法、内容等を打ち合わせるとともに、発注者より橋梁点検に必要な資料等の貸与を受けること。

(7) 安全管理

- ・本業務を実施するにあたり、本特記仕様書に定める図書のほか、関連法令等を遵守し、作業の安全確保に努めること。

(8) 土地の立ち入り等について

- ・本業務を実施するために第三者の土地に立ち入る場合、または、第三者所有の草木等の伐採が必要な場合は、受注者において了解を得ること。

(9) 健全度評価

- ・本業務で点検を行った橋梁について、「伊賀市橋梁点検要領（案）損傷事例」を参考に、損傷度の見直しを行い、橋梁の健全度評価（４段階）を行うこと。

(10) その他

- ・本特記仕様書に定めないものは、「三重県業務委託共通仕様書」によるものとする。

(11) 工程管理（履行報告）

- ・業務計画書に基づき全体工程を作成し、毎月末の履行状況を所定の様式に基づき作成し、翌月の３日までに監督員に提出すること。なお、工程に遅れが生じている場合は、全体工程を修正し、履行状況の提出に併せて修繕全体工程表を提出すること。

(12) 橋梁点検データの整理について

- ・伊賀市橋梁点検要領（案）平成 29 年 6 月 P 85 から P 96 に基づくこと。
- ・データの整理が完了後、橋梁点検データを三重県建設技術センターでフォルダ構成等の作業を行いますので、不適合が見受けられた場合は、修正等の作業を行うこと。なお、時期については監督員と協議を行うこと。

保管用データ作成にかかる追加特記仕様書① (橋梁点検用)

本追加特記仕様書は、成果品として定められている電子納品用成果とは別に、データ保管のために作成する電子データの作成について定めるものである。

1 通 則

保管用データ作成については、本追加特記仕様書に基づき実施するものとし、本追加特記仕様書等に明示なき事項、又は疑義が生じた場合には、受発注者間で協議の上これを定めるものとする。

2 提出部数及び収蔵媒体

- (1) 作成部数 1 部
- (2) 収蔵媒体はDVD-RまたはCD-Rを用いるものとするが、発注者との協議により了承を得た場合はこの限りではない。
- (3) 提出する収蔵媒体は、最新のバージョンによるウイルスチェックを実施し、脅威が検出されていない旨を発注者に報告しなければならない。

3 橋梁基本情報の作成

- (1) 橋梁基本情報とは、対象となる橋梁の諸元（位置や橋梁名など）を示すものであり、発注者より作成の指示のあった場合は、別途発注者より提供する様式「橋梁基本情報登録」において、必要な情報を入力し、提出しなければならない。
- (2) 発注者より配布される様式類については、レイアウト（行や列の挿入・削除）等改変することはできない。やむを得ず改変する場合は、発注者に改変内容を書面にて提示しなければならない。

4 橋梁点検にかかる保管用データの作成（参考資料参照）

- （１）橋梁点検に関する保管用データは、別途「橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成」に示す構成により取りまとめ、格納しなければならない。
- （２）報告書フォルダーには、別途示す「業務対象橋梁一覧」を作成し、格納しなければならない。
- （３）報告書フォルダーには、設計報告書をPDFにて一式格納しなければならない。
- （４）報告書フォルダーには、発注者より指示のない限り、オリジナルデータは格納してはならない。
- （５）各橋梁毎のデータについては、各橋梁毎にフォルダーを作成し、各種様式類や損傷写真、損傷図等を仕分けして格納しなければならない。このときファイルの形式（ExcelやWord、PDFなど）については、特に指定はなく、関連するデータを格納する。
- （６）成果品については、発注者より提供されるチェックシステムを用いてチェックを行ない、エラーの無いように修正しなければならない。
- （７）チェックシステムにおける警告事案に関しては、警告内容を発注者に紙面にて報告し、協議のうえ指示を得るものとする。
- （８）その他記載のないものについては、発注者と協議のうえ指示を得なければならない。
- （９）本追加特記仕様書に示す仕様と異なるもので提出された場合、発注者より補修の要請があった場合は、その仕様に合致するよう受注者の責により補修しなければならない。

【参考資料】

1. 橋梁基本情報登録について
2. 橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成について
3. 業務対象橋梁一覧について

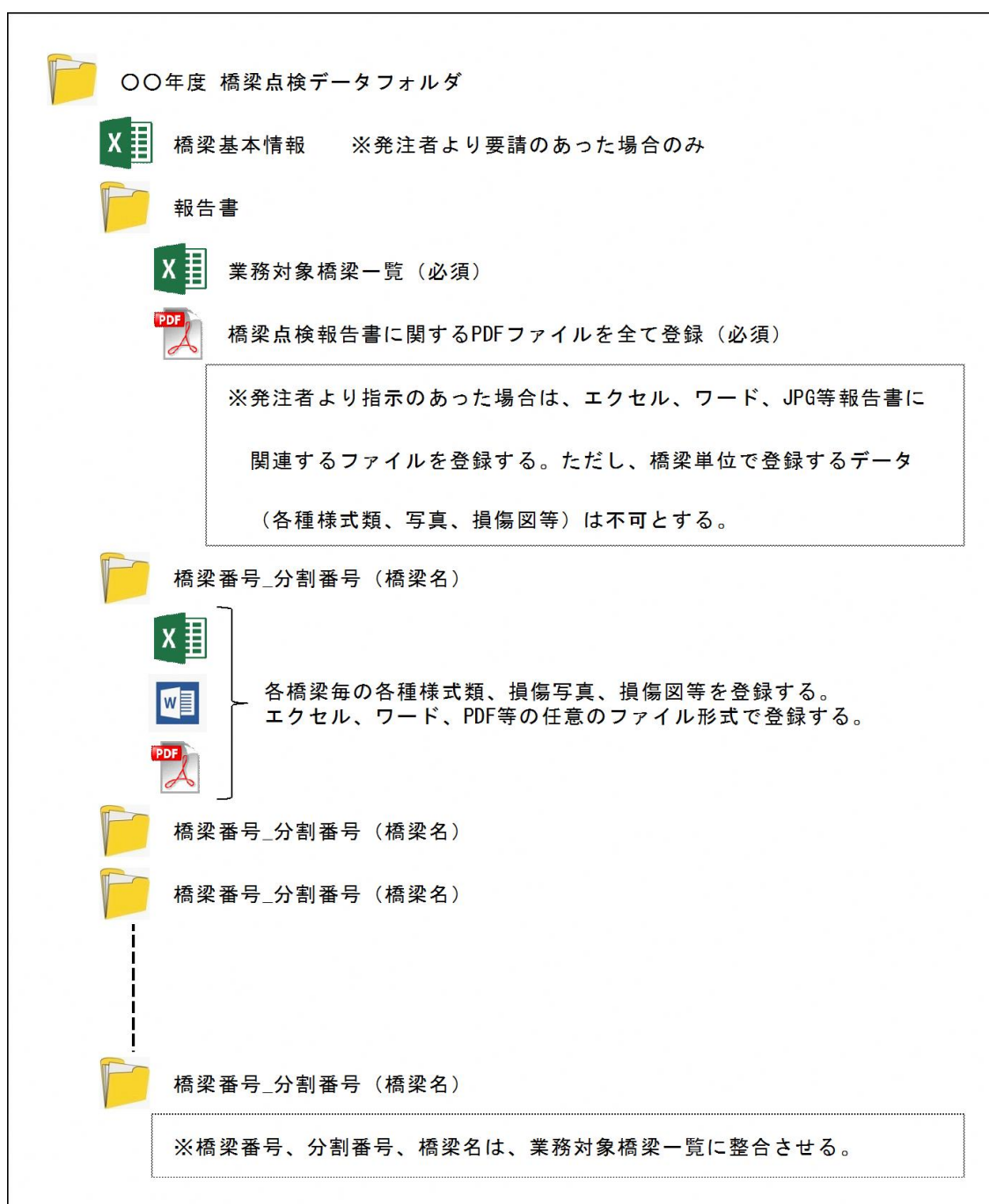
【参考資料】

1. 「橋梁基本情報登録」について

別途指定する様式に基づき、橋梁基本情報を作成する。

橋梁基本情報の作成において、「橋梁番号、分割番号、管理者、道路種別、路線番号、路線名、市町村名、現旧新別、橋梁種別、橋梁分類、橋梁名、上部工構造形式、上部工使用材料、架設年次、橋長、径間数、橋梁名かな、起点側緯度、起点側経度」が
入力必須項目となる。

2. 「橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成」について



3. 報告書フォルダーに組み込む「業務対象橋梁一覧」について

	A	B	C	D	E	F	G
1	橋梁番号	分割番号	路線名	橋梁名			
2	10010	0	町道〇〇線	〇〇橋			
3	10020	0	町道〇〇線	〇〇橋			
4	10030	0	町道〇〇線	〇〇橋			
5	10040	0	町道〇〇線	〇〇橋			
6	10050	0	町道〇〇線	〇〇橋			
7	10060	1	町道〇〇線	〇〇橋			
8	10060	2	町道〇〇線	〇〇橋			
9	10070	0	町道〇〇線	〇〇橋			
10	10080	0	町道〇〇線	〇〇橋			
11	10090	0	町道〇〇線	〇〇橋			
12							
13							
14							

※エクセルシートを用い、一行目A列に橋梁番号、B列に分割番号、C列に路線名、D列に橋梁名のタイトルを入力し、二行目からそれぞれ該当情報を入力したものを格納する。

保管用データ作成にかかる追加特記仕様書② (橋梁点検用)

本追加特記仕様書は、成果品として定められている電子納品用成果とは別に、データ保管のために作成する電子データの作成について定めるものである。

1 通 則

保管用データ作成については、本追加特記仕様書に基づき実施するものとし、本追加特記仕様書等に明示なき事項、又は疑義が生じた場合には、受発注者間で協議の上これを定めるものとする。

2 提出部数及び収蔵媒体

- (1) 作成部数 1 部
- (2) 収蔵媒体はDVD-RまたはCD-Rを用いるものとするが、発注者との協議により了承を得た場合はこの限りではない。
- (3) 提出する収蔵媒体は、最新のバージョンによるウイルスチェックを実施し、脅威が検出されていない旨を発注者に報告しなければならない。

3 橋梁基本情報の作成

- (1) 橋梁基本情報とは、対象となる橋梁の諸元（位置や橋梁名など）を示すものであり、発注者より作成の指示のあった場合は、別途発注者より提供する様式「橋梁基本情報登録」において、必要な情報を入力し、提出しなければならない。
- (2) 発注者より配布される様式類については、レイアウト（行や列の挿入・削除）等改変することはできない。やむを得ず改変する場合は、発注者に改変内容を書面にて提示しなければならない。

4 橋梁点検にかかる保管用データの作成（参考資料参照）

- （１）橋梁点検については別途特記仕様書に示されている「〇〇〇町橋梁点検要領（案）平成29年6月」に基づき実施し、保管用データを取りまとめ格納しなければならない。
- （２）報告書フォルダーには、別途示す「業務対象橋梁一覧」を作成し、格納しなければならない。
- （３）報告書フォルダーには、設計報告書をPDFにて一式格納しなければならない。
- （４）報告書フォルダーには、発注者より指示のない限り、オリジナルデータは格納してはならない。
- （５）その他「〇〇〇町橋梁点検要領（案）平成29年6月」に記載のないものについては、発注者と協議のうえ指示を得なければならない。
- （６）成果品については、発注者より提供されるチェックシステムを用いてチェックを行ない、エラーの無いように修正しなければならない。
- （７）チェックシステムにおける警告事案に関しては、警告内容を発注者に紙面にて報告し、協議のうえ指示を得るものとする。
- （８）本追加特記仕様書に示す仕様と異なるもので提出された場合、発注者より補修の要請があった場合は、その仕様に合致するよう受注者の責により補修しなければならない。

【参考資料】

1. 橋梁基本情報登録について
2. 橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成について
3. 業務対象橋梁一覧について

【参考資料】**1. 「橋梁基本情報登録」について**

別途指定する様式に基づき、橋梁基本情報を作成する。

橋梁基本情報の作成において、「橋梁番号、分割番号、管理者、道路種別、路線番号、路線名、市町村名、現旧新別、橋梁種別、橋梁分類、橋梁名、上部工構造形式、上部工使用材料、架設年次、橋長、径間数、橋梁名かな、起点側緯度、起点側経度」が
入力必須項目となる。

2. 「橋梁点検にかかる保管用データ格納フォルダー構成」について

 ○○年度 橋梁点検データフォルダ

 橋梁基本情報 ※発注者より要請のあった場合のみ

 報告書

 業務対象橋梁一覧（必須）

 橋梁点検報告書に関するPDFファイルを全て登録（必須）

※必要に応じてエクセル、ワード、JPG等報告書に関連するファイルを
登録することも可。ただし、橋梁単位で登録するデータ（各種様式類、
写真、損傷図等）は不可とする。

 YYYYMMDD

※YYYYMMDDは、橋梁点検要領（案）に示すフォルダ構成の「点検日」を示す。

※各橋梁毎に格納するデータ等のフォルダー構成やファイル形式、細則等については
「○○○町橋梁点検要領（案）平成29年6月」による。

3. 報告書フォルダーに組み込む「業務対象橋梁一覧」について

	A	B	C	D	E	F	G
1	橋梁番号	分割番号	路線名	橋梁名			
2	10010	0	町道〇〇線	〇〇橋			
3	10020	0	町道〇〇線	〇〇橋			
4	10030	0	町道〇〇線	〇〇橋			
5	10040	0	町道〇〇線	〇〇橋			
6	10050	0	町道〇〇線	〇〇橋			
7	10060	1	町道〇〇線	〇〇橋			
8	10060	2	町道〇〇線	〇〇橋			
9	10070	0	町道〇〇線	〇〇橋			
10	10080	0	町道〇〇線	〇〇橋			
11	10090	0	町道〇〇線	〇〇橋			
12							
13							
14							

※エクセルシートを用い、一行目A列に橋梁番号、B列に分割番号、C列に路線名、D列に橋梁名のタイトルを入力し、二行目からそれぞれ該当情報を入力したものを格納する。

特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.1

明示項目		明示事項（条件及び内容）	
ア	適用図書	☒ 設計業務等委託契約書 ☒ 設計業務等共通仕様書（三重県）【平成27年11月制定】 部分改正を行った内容も含む（最新改正平成30年11月 1 日一部改正） ☐ 三重県公共工事共通仕様書（三重県）【平成28年 7 月制定】 部分改正を行った内容も含む（最新改正 年 月） ☒ その他（三重県を伊賀市と読替える。）	
イ	業務計画等	☒ 契約締結後 14日以内に業務計画書（工程表）を監督員に提出する。 ☒ 業務完了の10日前までに数量報告書（工種、設計数量、実施数量等を記載）を監督員に提出する。 ☒ 業務日報は、監督員が提出を要求したときすみやかに提出する。 ☐ その他（ ）	
ウ	成果の提出	☐ 電子記憶媒体で提出すること。ただし、その仕様等については三重県CALS電子納品運用マニュアル【平成24年7月改訂】によるものとする。 ☒ 本業務における成果物の提出部数は、（ ☐ 3部 ☒ （2）部）とする。 ☒ 指示する期日までに提出する成果物あり。（監督員と協議。） ☐ 検査用として成果物の印刷物（A4版簡易ファイル、年度・委託名・完成年月・受発注者名を明示、図面は袋とじ）を1部提出する。 ☐ その他（ ）	
エ	工程関係	☐ 別途業務との工程調整の必要あり （別途業務名： ） ☒ 関係機関との協議の必要あり（別途資料作成必要あり） ☒ その他（毎月末の履行報告書を翌月3日までに監督員に提出すること。） （工程に遅れが生じている場合は、全体工程を修正し、履行報告書の提出に併せて修正全体工程表を提出すること。）	
オ	管理技術者の要件	管理技術者は、（ ☐ 下記の者 ☒ 下記のいずれかの者）とする。 ☒ 技術士 （ ☒ 建設部門 鋼構造物及びコンクリート科目 ☐ 部門・科目を問わない） ☒ 上記の技術士と同等の能力と経験を有する技術者（技術管理者） ☒ RCCMの資格保持者 （ ☒ 鋼構造物及びコンクリート部門 ☐ 受注者の責任において定めた、業務の履行に必要な知識と経験を有する者）	
	管理技術者のその他要件	☒ 配置予定技術者届出書に記載した技術者を契約時に配置しなければならない。 ☒ その他（管理技術者及び照査技術者の兼務は出来ないものとする。）	

(注)

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市
2019年6月

特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.2

明示項目	明示事項（条件及び内容）
カ 照査技術者	☐ 概略・予備・詳細設計等については、照査技術者を定めなければならない。 ☒ 次の業務には、照査技術者を定めなければならない。 （ 業務全般 ）
照査技術者の要件	照査技術者は、（ ☐ 下記の者 ☒ 下記のいずれかの者 ）とする。 ☒ 技術士 （ ☐ 部門 科目、 ☐ 部門、 ☒ 部門・科目を問わない） ☒ 上記の技術士と同等の能力と経験を有する技術者（技術管理者） ☒ R C C Mの資格保持者 （ ☐ 部門、 ☒ 部門を問わない） ☐ 受注者の責任において定めた、業務の履行に必要な知識と経験を有する者 ☒ その他（管理技術者及び照査技術者の兼務は出来ないものとする。）
照査の実施	☒ 照査は下記も含めて実施し、これに基づいて作成した資料は照査報告書に含めて提出しなければならない。 ☒ 詳細設計照査要領（（社）中部建設協会発行） ☐ その他（ ）
キ 打合せ等	☒ 設計業務等着手時及び成果物納入時（成果物案の打合せ時を含む）及び設計図書で定める業務の区切りにおける打合せには、管理技術者が出席するものとする。 ☒ 照査技術者による照査が定められている場合は以下のとおりとする。 設計業務着手時及び成果物納入時（成果物案の打合せ時を含む）における打合せには、照査技術者も出席するものとする。
ク 資料の貸与	☒ 発注者の貸与する資料は、次のとおりとする。 （ 道路台帳 ）
ケ 業務条件	☐ 業務条件は下記のとおりとする。

（注）

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市
2019年6月

特記仕様書（設計業務条件一覧表）

No.3

明示項目	明示事項（条件及び内容）
コ その他	☒ 成果物の中で他の文献、資料等を引用した場合出典名を報告書に明記すること。 ☒ 暴力団員等による不当介入（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱第2条第1項第11号）を受けた場合の措置について (1) 受注者は暴力団員等（伊賀市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱第2条第1項第9号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに所轄の警察署に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (2) (1)により所轄の警察署に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 (3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

（注）

1. 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印該当欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
2. 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し、適切な措置を講ずるものとする。
3. 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

伊賀市
2019年6月

点検項目			県市町名		路線名		橋種		点検日				
			橋梁コード		位置(起点側)		橋長(m)		点検者				
			橋梁名		位置(終点側)		総径間数		点検径間番号				
									上部工塗装面積				
点検項目			損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
				該当部材 無し	O.K (健全性:Ⅰ)	B1 (健全性:Ⅰ～Ⅱ)	B2 (健全性:Ⅰ～Ⅱ)	A (健全性:Ⅰ～Ⅱ)					
1	橋面	路面	路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。 損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。 損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。 損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm 以上)損傷がある。				供用性を評価	
2			舗装の異常	部材無し	舗装ひび割れ幅5mm以下である 密集度が低い。	舗装ひび割れ幅5mm以上で深さ が床版に達している。発生箇所 数や面積は少ない。	舗装ひび割れ幅10mm以上で舗 装直下のコンクリートが土砂化し ている。 発生箇所や面積が多い。	車両等の通行に於いて減速や迂回を必 要とするような損傷がある。					
3		伸縮装置	遊間の異常	部材無し	各遊間に差はあるが必要程度の 遊間は確保されている。	各遊間の間隔が極端に異なっ ている。直角方向にずれている。	装置の櫛の歯が完全に離れてい る。 桁とバラベツあるいは桁同士が 接触している。	遊間の異常な広がりや装置の座屈変形 によるせり上がり等により、第三者に障害 を及ぼす懸念がある。				供用性を評価	
4			路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。 損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。 損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。 損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm 以上)損傷がある。				伸縮装置固定部の後打 ちコンクリートを評価	
5			鋼製ジョイントの場 合 腐食、亀裂、 ゆるみ・脱落、破断 など	部材無し	鋼材の表面に部分的な腐食があ る。	鋼材表面全体に錆が発生してい る。 櫛の歯の一部に軽微な破断や欠 損がある。	錆の発生が激しく板厚の減少があ る。 櫛の歯に比較的大きな亀裂や破 断がある。	櫛の歯の破断や欠損により、通行車両等 に障害(バンク、転倒)を及ぼす懸念があ る。					
6			変形・欠損、漏水な ど (ゴム系)	部材無し	経年劣化がある。	部分的に軽度の変形・欠損、漏 水などがある。	部材全体に劣化が進み比較的大 きな変形や欠損がある。 欠損箇所から橋面下への漏水が 見られる。	部材に著しい変形や欠損が生じている。 第三者の通行に支障がある。					
7		高欄・防護柵・ 地覆・中央分離帯	腐食・変形・欠損な ど	部材無し	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板 厚の減少や断面欠損はなく、錆 びの面積は50%未満。 部材等の変形、欠損はない。 (コンクリート部材の場合) 部材等の変形、欠損、鉄筋の露 出はない。	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板 厚の減少や断面欠損はないが、 錆びの面積は50%以上。 部材等の変形、欠損はあるが軽 微である。 (コンクリート部材の場合) 部材等の変形、欠損、鉄筋の露 出はあるが軽微である。	(鋼部材の場合)錆による板厚の 減少や断面欠損があるが、錆び の面積は50%未満。 部材の一部が局部的に著しく変 形し一部が欠損している。 支柱下地覆が欠損し支柱が浮い ている。 (コンクリート部材の場合) 部材の一部が局部的に著しく変 形し一部が欠損している。	(鋼部材の場合)車両の衝突による変形や 腐食による断面欠損があり、錆びの面積 が50%以上である。 損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機 能が失われ車両や通行人に支障がある。 (コンクリート部材の場合) 損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機 能が失われ車両や通行人に支障がある。				供用性を評価	
8		排水施設 柵、管	腐食・変形・欠損な ど	部材無し	軽微な腐食はあるが、変形、欠 損はない。	部材が局所的に変形している。 排水管全体が腐食している。	部材全体が著しく腐食して部分 的に欠損している。 柵の一部に変形や欠損がある。	排水管の腐食が著しく部材が欠損し、機 能不全を生じている。 排水柵が消失し空隙が生じ第三者の通行 に支障がある。				供用性を評価	
9		その他付属物	腐食・変形・欠損な ど	部材無し	軽微な腐食はあるが、変形、欠 損はない。	部材が局所的に変形し、一部が 著しく欠損している。	部材が全体的に著しく変形した り、欠損している。	橋上施設部材の変形や異常により第三者 の通行に支障がある。				供用性を評価	

点検項目				県市町名		路線名		橋種		点検日					
				橋梁コード		位置(起点側)		橋長(m)		点検者					
				橋梁名		位置(終点側)		総径間数		点検径間番号					
												上部工塗装面積			
点検項目				損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である						写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
					該当部材 無し	O.K (健全性:Ⅰ)	B1 (健全性:Ⅰ～Ⅱ)	B2 (健全性:Ⅰ～Ⅲ)	A (健全性:Ⅱ～Ⅳ)						
10	上部工	鋼	主桁	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上) 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	皮膜の劣化範囲が広くし点錆が発生している。 耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(支点、支間中央付近など)ある。				耐荷性に直接影響する		
11				亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断が(支点付近に)ある。						
12				ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。						
13				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損が(支点や支間中央付近など)ある。						
14			鋼	横桁・縦桁	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない(錆び面積50%以上)である。 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(接合部、支間中央付近など)ある。				耐荷性に影響する部材	
15					亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂があり、亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断が(接合部、支間中央付近など)ある。					
16					ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。					
17					変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。					
18			鋼	床版	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上) 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(接合部、支間中央付近など)ある。				耐荷性に影響する部材	
19					亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断がある。					
20					ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。					
21					変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。					

点検項目				県市町名		路線名		橋種		点検日					
				橋梁コード		位置(起点側)		橋長(m)		点検者					
				橋梁名		位置(終点側)		総径間数		点検径間番号					
											上部工塗装面積				
点検項目				損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である						写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
					該当部材 無し	O.K (健全性:Ⅰ)	B1 (健全性:Ⅰ～Ⅱ)	B2 (健全性:(Ⅰ～Ⅲ)	A (健全性:Ⅱ～Ⅳ)						
22	上部工	コン クリ ート	主桁	RC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅03mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響と思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。				耐荷性に直接影響する		
23				PC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響と思われるひび割れがある。						
24				剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋の一部(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく、わずかに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響と思われる断面減少が見られる。						
25				漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。						
26				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形がある。 欠損が著しい。	耐荷力に影響(断面定数の低下)すると思われる変形や欠損が(支点、支間中央付近など)ある。						
27		横桁・縦桁	RC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅03mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響と思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。				耐荷性に影響する部材			
28			PC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響と思われるひび割れがある。							
29			剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響と思われる断面減少が見られる。							
30			漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。							
31			変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	変形がある。 または欠損がある。	著しい変形がある。 または欠損が著しい。	耐荷力に影響と思われる変形や欠損がある。							
32		床版 (張出部含む)	剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく僅かに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響と思われる断面減少が見られる。				耐荷性に直接影響する			
33			漏水・遊離石灰、 うき、変色・劣化	部材無し	損傷なし	コンクリートの劣化がある。ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	コンクリートの劣化が激しい。ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、錆汁が生じている。 (単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	漏水等の風化作用によりコンクリートや鉄筋の劣化が進み材料強度低下が考えられ耐荷力に影響を与えている。							
34			抜け落ち	部材無し	損傷なし	—	—	コンクリートの抜け落ちがある。							
35			床版ひび割れ	部材無し	性状、主として一方向のみに発生。 ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	性状、格子状直前の状況に発生。 ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	性状、格子状に発生。 ひび割れ幅0.2mm以上が連続 ひび割れ間隔0.2m以下の格子状	床版の疲労による劣化が加速期に達して、構造が等方性版から異方性へと変化し、耐荷力に影響すると思われる。							
36			定着部の異常	部材無し	軽微なひび割れがある。	PC鋼材の定着部より錆汁が認められる。または定着部に損傷が認められる。	PC鋼材の定着部のコンクリートが剥離している。または定着部に著しい損傷がある。	定着具やアンカープレートに大きな変形が見られる。							
37				漏水・滞水	部材無し	損傷なし	伸縮装置からの漏水や排水装置からの漏水による伝い水がある。	—	—						

点検項目				県市町名		路線名		橋種		点検日					
				橋梁コード		位置(起点側)		橋長(m)		点検者					
				橋梁名		位置(終点側)		総径間数		点検径間番号					
										上部工塗装面積					
点検項目				損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である						写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
					該当部材 無し	O.K (健全性:Ⅰ)	B1 (健全性:Ⅰ～Ⅱ)	B2 (健全性:(Ⅰ～Ⅲ))	A (健全性:Ⅱ～Ⅳ)						
38	下部工	鋼	橋脚躯体	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色が生じ、錆の発生があるが部分的である。	皮膜が剥離し全体に錆の発生がある。板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	錆の発生により部材に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少がある。				耐荷性に影響する部材		
39				亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂やなどが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断がある。						
40				ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。						
41				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)すると思われる変形や欠損がある。						
42		コンクリート	橋台躯体・橋脚躯体	ひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。 主桁が落橋する様な大きな割れがある。						
43				剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋の全てが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。						
44				漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの錆汁が発生している。 発生箇所が広範囲で耐荷力に影響すると思われる鉄筋の断面減少が予想される。						
45		基礎		沈下・移動・傾斜	部材無し	損傷なし	沈下、移動や傾斜の疑いがある。	明らかな沈下、移動、傾斜現象が見られる。	落橋の恐れがある。						
46				洗掘	部材無し	損傷なし	軽微な洗掘がある。	比較的大きな(深く、長く、広い)洗掘現象が見られる。	落橋の恐れがある。						
点検項目				損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である						写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
					該当部材 無し	O.K (健全性:Ⅰ)	B1 (健全性:Ⅰ～Ⅱ)	B2 (健全性:(Ⅰ～Ⅲ))							
47	その他	支承	本体	腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	板厚減少が見られない程度の腐食が発生。	鋼材表面に著しい膨張が発生。	腐食により崩壊、消失をきたし路面に段差が生じ通行車両に支障。							
48				支承の機能障害	部材無し	損傷なしor損傷軽微	支承の一部機能(固定・可動、回転)が損なわれている。	支承の機能が全消失している。							
49				変形・欠損	部材無し	損傷なし	支承の機能障害に至らない程度の変形、欠損がある。	支承の機能障害を伴う様な変形や欠損がある。							
50		落橋防止システム	アンカーボルト	腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	部材径に減少が見られない程度の腐食が発生。	著しい腐食による膨張や破断、抜け出しがある。	—							
51			腐食、破断、変形、欠損、ひび割れ、剥離、鉄筋露出	部材無し	局所的に軽微な損傷がある。	著しい損傷がある。	—								
			種類	□鋼 □コンクリート □PC鋼材連結 □突起 □桁下鋼材突起 □ピン連結 □チェーン連結 □沓座拡幅											
52		モルタル		ひび割れ、変形・欠損	部材無し	ひび割れ幅0.3mm以下	剥離、欠損が著しい。	—							
53				その他	部材無し	損傷なし	損傷あり	—					下部工背後の凹凸等		

現地調査までに記入

現地で記入

損傷程度評価に○を付ける。
概算数量及び備考を記入。

現地点検時、塗装履歴が表示されているときは、その面積を記入

点検項目		県市町名	路線名	橋種	点検日	2015/4/1	概算数量及び備考を記入。 現地点検時、塗装履歴が表示されているときは、その面積を記入				
		橋梁コード	位置(起点側)	橋長(m)	点検者	三重 太郎					
		橋梁名	位置(終点側)	総径間数	点検径間番号	1					
						上部工塗装面積					
点検項目		損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である				写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
			該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ II)					A (健全性: I ~ II)
1	路面	路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm以上)損傷がある。		箇所	箇所	凹凸なし
2		舗装の異常	部材無し	舗装ひび割れ幅5mm以下である。密集度が低い。	舗装ひび割れ幅5mm以上で深さが床版に達している。発生箇所数や面積は少ない。	舗装ひび割れ幅10mm以上で舗装直下のコンクリートが土砂化している。発生箇所や面積が多い。	車両等の通行に於いて減速や迂回を必要とするような損傷がある。		m2	m2	
3	伸縮装置	遊間の異常	部材無し	各遊間に差はあるが必要程度の遊間は確保されている。	各遊間の間隔が極端に異なっている。直角方向にずれている。	装置の櫛の歯が完全に離れている。桁とパラベットあるいは桁同士が接触している。	遊間の異常な広がりや装置の座屈変形によるせり上がり等により、第三者に障害を及ぼす懸念がある。		箇所	箇所	
4		路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm以上)損傷がある。		箇所	箇所	
5		鋼製ジョイントの場合 腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	鋼材の表面に部分的な腐食がある。	鋼材表面全体に錆が発生している。櫛の歯の一部に軽微な破断や欠損がある。	錆の発生が激しく板厚の減少がある。櫛の歯に比較的大きな亀裂や破断がある。	櫛の歯の破断や欠損により、通行車両等に障害(パンク、転倒)を及ぼす懸念がある。		箇所	箇所	
6		変形・欠損、漏水など (ゴム系)	部材無し	経年劣化がある。	部分的に軽度の変形・欠損、漏水などがある。	部材全体に劣化が進み比較的大きな変形や欠損がある。欠損箇所から橋面下への漏水が見られる。	部材に著しい変形や欠損が生じている。第三者の通行に支障がある。		箇所	箇所	ゴム欠損 漏水あり
7	高欄・防護柵・地覆・中央分離帯	腐食、変形・欠損など	部材無し	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満。部材等の変形、欠損はない。(コンクリート部材の場合)部材等の変形、欠損、鉄筋の露出はない。	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はないが、錆びの面積は50%以上。部材等の変形、欠損はあるが軽微である。(コンクリート部材の場合)部材等の変形、欠損、鉄筋の露出はあるが軽微である。	(鋼部材の場合)錆による板厚の減少や断面欠損があるが、錆びの面積は50%未満。部材の一部が局部的に著しく変形し一部が欠損している。支柱下地覆が欠損し支柱が浮いている。(コンクリート部材の場合)部材の一部が局部的に著しく変形し一部が欠損している。	(鋼部材の場合)車両の衝突による変形や腐食による断面欠損があり、錆びの面積が50%以上である。損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機能が失われ車両や通行人に支障がある。(コンクリート部材の場合)損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機能が失われ車両や通行人に支障がある。		m	m	錆の面積30%
8	排水施設 樹、管	腐食、変形・欠損など	部材無し	軽微な腐食はあるが、変形、欠損はない。	部材が局所的に変形している。排水管全体が腐食している。	部材全体が著しく腐食して部分的に欠損している。樹の一部に変形や欠損がある。	排水管の腐食が著しく部材が欠損し、機能不全を生じている。排水樹が消失し空隙が生じ第三者の通行に支障がある。		箇所	箇所	排水管欠損

9	その他付属物	腐食、変形・欠損など	部材無し	軽微な腐食はあるが、変形、欠損はない。	部材が局部的に変形し、一部が著しく欠損している。	部材が全体的に著しく変形したり、欠損している。	橋上施設部材の変形や異常により第三者の通行に支障がある。		箇所 1	箇所	照明灯錆
---	--------	------------	------	---------------------	--------------------------	-------------------------	------------------------------	--	---------	----	------

現地調査までに記入

現地で記入

点検項目	県市町名	路線名	橋種	点検日
	橋梁コード	位置(起点側)	橋長(m)	点検者
	橋梁名	位置(終点側)	総径間数	点検経間番号
				上部工塗装面積

現地点検時、塗装履歴が表示されているときは、その面積を記入

点検項目				損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である				写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
				該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I～II)	B2 (健全性: I～III)	A (健全性: II～IV)				
10	上部工	鋼	主桁	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上) 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	皮膜の劣化範囲が広く点錆が発生している。 耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(支点、支間中央付近など)ある。	m2	m2	耐荷性に直接影響する
11				亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。 亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断が(支点付近)にある。	箇所	箇所	
12				ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。			
13				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損が(支点、支間中央付近など)ある。	箇所	箇所	
14		鋼	横桁・縦桁	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上) 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(接合部、支間中央付近など)ある。	m2	m2	耐荷性に影響する部材
15				亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂があり、亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断が(接合部、支間中央付近など)ある。	箇所	箇所	
16				ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。	箇所	箇所	
17				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。	箇所	箇所	
18		鋼	床版	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色はない。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はなく、錆びの面積は50%未満である。	皮膜が一部劣化している。 錆は表面錆で板厚の減少や断面欠損はない。(錆び面積50%以上) 板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	皮膜が劣化し点錆が発生している。 錆の発生により部材(支点、支間中央付近以外)に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少が(接合部、支間中央付近など)ある。	m2	m2	耐荷性に影響する部材
19				亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。 亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐荷力に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断がある。	箇所	箇所	
20				ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。	箇所	箇所	

サンプルは、コンクリート上部工のため「部材無し」に○を付ける。

サンプルは、コンクリート上部工のため「部材無し」に○を付ける。

21				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局部的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。		箇所	箇所	
----	--	--	--	-------	------	---------------	---------------	-------------------	------------------------------	--	----	----	--

現地調査までに記入

現地で記入

点検項目		県市町名	路線名	〇〇線	橋種	本線橋	点検日	2015/4/1	現地点検時、塗装履歴が表示されているときは、その面積を記入		
		橋梁コード	〇〇〇	位置(起点側)	橋長(m)	100	点検者	三重 太郎			
		橋梁名	〇〇橋	位置(終点側)	総径間数	3	点検経間番号	1			
							上部工塗装面積				
点検項目		損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
			該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)				
22	主桁	RC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐力に影響すると思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。		m2	m2	ひび割れ下面 0.05mm、側面 0.15mm
23		PC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐力に影響すると思われるひび割れがある。		m2	m2	
24		剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく、わずかに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐力に影響すると思われる断面減少が見られる。		m2	m2	なし
25		漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。		m2	m2	遊離石灰が少し見られる
26		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形がある。 欠損が著しい。	耐力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損が(支点、支間中央付近など)ある。		箇所	箇所	なし
27	横桁・縦桁	RC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐力に影響すると思われるひび割れがある。 せん断ひび(支点付近に斜め45°)が発生している。		m2	m2	ひび割れ0.15mm
28		PC桁のひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.2mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐力に影響すると思われるひび割れがある。		m2	m2	
29		剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐力に影響すると思われる断面減少が見られる。		m2	m2	なし
30		漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの漏水や錆汁が発生している。		m2	m2	遊離石灰が少し見られる
31		変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	変形がある。 または欠損がある。	著しい変形がある。 または欠損が著しい。	耐力に影響すると思われる変形や欠損がある。		箇所	箇所	なし
32	床版 (張出部含む)	剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく僅かに断面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著しく、耐力に影響すると思われる断面減少が見られる。		m2	m2	なし
33		漏水・遊離石灰、うき、変色・劣化	部材無し	損傷なし	コンクリートの劣化がある。ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	コンクリートの劣化が激しい。ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、錆汁が生じている。 (単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	漏水等の風化作用によりコンクリートや鉄筋の劣化が進み材料強度低下が考えられ耐力に影響を与えている。		1	m2	
34		抜け落ち	部材無し	損傷なし	—	—	コンクリートの抜け落ちがある。		m2	m2	
35		床版ひび割れ	部材無し	性状、主として一方向のみに発生。 ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	性状、格子状直前の状況に発生。 ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	性状、格子状に発生。 ひび割れ幅0.2mm以上が連続 ひび割れ間隔0.2m以下の格子状	床版の疲労による劣化が加速期に達して、構造が等方性版から異方性へと変化し、耐力に影響すると思われる。		1	m2	幅0.15mm 間隔0.5m

現地点検時、塗装履歴が表示されているときは、その面積を記入

36				定着部の異常	部材無し	軽微なひび割れがある。	PC鋼材の定着部より錆汁が認められる。または定着部に損傷が認められる。	PC鋼材の定着部のコンクリートが剥離している。または定着部に著しい損傷がある。	定着具やアンカープレートに大きな変形が見られる。		箇所	箇所	
37				漏水・滞水	部材無し	損傷なし	伸縮装置からの漏水や排水装置からの漏水による古い水がある。	—	—		箇所	箇所	

現地調査までに記入

現地で記入

点検項目				県市町名	路線名	〇〇線	橋種	本線橋	点検日	2015/4/1		
				橋梁コード	〇〇〇〇	位置(起点側)	橋長(m)	100	点検者	三重 太郎		
				橋梁名	〇〇橋	位置(終点側)	総径間数	3	点検径間番号	1		
									上部工塗装面積	---		
点検項目		損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
			該当部材 無し	O.K (健全性:Ⅰ)	B1 (健全性:Ⅰ～Ⅱ)	B2 (健全性:(Ⅰ～Ⅲ))	A (健全性:Ⅱ～Ⅳ)					
38	下部工	鋼	橋脚躯体	腐食・防食機能の劣化	部材無し	皮膜に変色が生じ、錆の発生があるが部分的である。	皮膜が剥離し全体に錆の発生がある。板厚減少を伴わない局所的な膨張がある。	錆の発生により部材に著しい膨張が生じ板厚の減少が見られる。	耐力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる板厚の減少がある。	m2	m2	
39				亀裂・破断	部材無し	損傷なし	溶接接合部や鋼材の塗装表面に局所的な塗膜割れや亀裂などが見られる。亀裂が線状でなく短く、数が少ない。	溶接接合部や鋼材の塗装表面に線状の亀裂がある。亀裂の長さや発生本数が比較的長く多い。亀裂が鋼材内部に生じている可能性がある。	耐力に影響に影響(断面定数の低下)と思われる大きな亀裂や破断がある。	箇所	箇所	
40				ゆるみ・脱落	部材無し	損傷なし	一群の添接部所に於いて5%未満のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常がある。 (使用材料は問わない)	一群の添接部所に於いて5%以上のボルトに異常があり且つ一列一行に一本以上の異常がある。 B2の損傷状況且つ遅れ破壊を伴う材料(F11T)を使用。	箇所	箇所	
41				変形・欠損	部材無し	当て傷等軽微な損傷がある。	局所的な変形や欠損がある。	著しい変形(座屈等)や欠損がある。	耐力に影響(断面定数の低下)と思われる変形や欠損がある。	箇所	箇所	
42		コンクリート	橋台躯体・橋脚躯体	ひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅0.3mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐力に影響と思われるひび割れがある。 主桁が落橋する様な大きな割れがある。	m2	m2	0.4mm、0.4m
43				剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋の全てが露出し腐食が著しく、耐力に影響と思われる断面減少が見られる。	m2	m2	
44				漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や表面の伝い水による遊離石灰は除く)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの錆汁が発生している。 発生箇所が広範囲で耐力に影響と思われる鉄筋の断面減少が予想される。	m2	m2	
45		基礎			沈下・移動・傾斜	部材無し	損傷なし	沈下、移動や傾斜の疑いがある。	明らかな沈下、移動、傾斜現象が見られる。	落橋の恐れがある。	cm	cm
46	洗掘				部材無し	損傷なし	軽微な洗掘がある。	比較的大きな(深く、長く、広い)洗掘現象が見られる。	落橋の恐れがある。	箇所	箇所	
点検項目		損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考	
			該当部材 無し	O.K (健全性:Ⅰ)	B1 (健全性:Ⅰ～Ⅱ)	B2 (健全性:(Ⅰ～Ⅲ))						
47	その他	支	本体	腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	板厚減少が見られない程度の腐食が発生。	鋼材表面に著しい膨張が発生。	腐食により崩壊、消失をきたし路面に段差が生じ通行車両に支障。		m2	m2	A1 4箇所
48				支承の機能障害	部材無し	損傷なしor損傷軽微	支承の一部機能(固定、可動、回転)が損なわれている。	支承の機能が全消失している。		箇所	箇所	腐食による
49				変形・欠損	部材無し	損傷なし	支承の機能障害に至らない程度の変形、欠損がある。	支承の機能障害を伴う様な変形や欠損がある。		箇所	箇所	
50		承	アンカーボルト	腐食、亀裂、ゆるみ・脱落、破断など	部材無し	部材径に減少が見られない程度の腐食が発生。	著しい腐食による膨張や破断、抜け出しがある。	—		箇所	箇所	なし
51				落橋防止	部材無し	局所的に軽微な損傷がある。	著しい損傷がある。	—		箇所	箇所	0.55mm

現地点検時、塗装履歴が表示されているときは、その面積を記入

現地点検時、塗装履歴が表示されているときは、その面積を記入

		システム	種類	☐ 鋼 ☒ コンクリート ☒ 鋼材連結 ☒ 突起 ☐ 桁下鋼材突起 ☐ ピン連結 ☐ チェーン連結 ☒ 沓座拡幅								
52		モルタル	ひび割れ、変形・欠損	部材無し	ひび割れ幅0.3mm以下	剥離、欠損が著しい。	—				箇所	箇所
53		その他		部材無し	損傷なし	損傷あり	—				箇所	箇所

ボックスカルバート用チェックシート

点検項目				県市町名		路線名		橋種		点検日			
				橋梁コード		位置(起点側)		橋長(m)		点検者			
				橋梁名		位置(終点側)		総径間数		点検径間番号			
										上部工塗装面積			
点検項目				損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
					該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ II)	A (健全性: I ~ II)				
1	橋 面	路面	路面の凹凸	部材無し	凹凸20mm未満の損傷がある。 損傷箇所が少ない。	凹凸20mm以上の損傷がある。 損傷箇所が比較的多い。	凹凸30mm以上の損傷がある。 損傷箇所や面積が多く広い。	車両等の通行に支障がある(凹凸40mm 以上)損傷がある。				供用性を評価	
2			舗装の異常	部材無し	舗装ひび割れ幅5mm以下であ る。 密集度が低い。	舗装ひび割れ幅5mm以上で深さ が床版に達している。発生箇所 数や面積は少ない。	舗装ひび割れ幅10mm以上で舗 装直下のコンクリートが土砂化し ている。 発生箇所や面積が多い。	車両等の通行に於いて減速や迂回を必 要とするような損傷がある。					
7		高欄・防護柵・ 地覆・中央分離 帯	腐食,変形・欠損な ど	部材無し	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板 厚の減少や断面欠損はなく、錆 びの面積は50%未満。 部材等の変形、欠損はない。 (コンクリート部材の場合) 部材等の変形、欠損、鉄筋の露 出はない。	(鋼部材の場合)錆は表面錆で板 厚の減少や断面欠損はないが、 錆びの面積は50%以上。 部材等の変形、欠損はあるが軽 微である。 (コンクリート部材の場合) 部材等の変形、欠損、鉄筋の露 出はあるが軽微である。	(鋼部材の場合)錆による板厚の 減少や断面欠損があるが、錆び の面積は50%未満。 部材の一部が局部的に著しく変 形し一部が欠損している。 支柱下地覆が欠損し支柱が浮い ている。 (コンクリート部材の場合) 部材の一部が局部的に著しく変 形し一部が欠損している。	(鋼部材の場合)車両の衝突による変形や 腐食による断面欠損があり、錆びの面積 が50%以上である。 損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機 能が失われ車両や通行人に支障がある。 (コンクリート部材の場合) 損傷により逸脱防止構造(支柱や梁)の機 能が失われ車両や通行人に支障がある。				供用性を評価	
点検項目				損傷状況	損傷程度の評価(該当する項目に○を付けて下さい)点検項目中の()内は健全性評価目安である					写真番号 (複数記入可)	損傷数量 損傷度B	損傷数量 損傷度A	備考
				該当部材 無し	O.K (健全性: I)	B1 (健全性: I ~ II)	B2 (健全性: I ~ III)	A (健全性: II ~ IV)					
32	上 部 工	コン ク リ ー ト	主桁 (頂版)	剥離・鉄筋露出	部材無し	局部的な剥離が見られ鉄筋の露 出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ) が露出しているが腐食は軽微で ある。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ) が露出し腐食が著しく僅かに断 面の減少が見られる。	主たる鉄筋のほとんどが露出し腐食が著 しく、耐荷力に影響すると思われる断面減 少が見られる。				耐荷性に直接影響する
33				漏水・遊離石灰、 うき,変色・劣化	部材無し	損傷なし	コンクリートの劣化がある。ひび 割れから漏水が生じているが、錆 汁や遊離石灰はほとんどみられ ない。	コンクリートの劣化が激しい。ひ び割れから著しい漏水や遊離石 灰、錆汁が生じている。 (単なる水滴や表面の伝い水によ る遊離石灰は除く)	漏水等の風化作用によりコンクリートや鉄 筋の劣化が進み材料強度低下が考えら れ耐荷力に影響を与えている。				
34				抜け落ち	部材無し	損傷なし	—	—	コンクリートの抜け落ちがある。				
35				床版ひび割れ	部材無し	性状、主として一方向のみに発 生。 ひび割れ幅0.1mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	性状、格子状直前の状況に発 生。 ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	性状、格子状に発生。 ひび割れ幅0.2mm以上が連続 ひび割れ間隔0.2m以下の格子状	床版の疲労による劣化が加速期に達し て、構造が等方性版から異方性へと変化 し、耐荷力に影響すると思われる。				
36				定着部の異常	部材無し	軽微なひび割れがある。	PC鋼材の定着部より錆汁が認 められる。または定着部に損傷 が認められる。	PC鋼材の定着部のコンクリート が剥離している。または定着部に 著しい損傷がある。	定着具やアンカープレートに大きな変形が 見られる。				
37				漏水・滞水	部材無し	損傷なし	—	—	伸縮や排水装置等からの漏水がある。 支承付近に漏水による滞水がある。				

42	下部工	コンクリート	橋台 (側壁・底版)	ひび割れ	部材無し	ひび割れ幅0.2mm未満 ひび割れ間隔1.0m以上	ひび割れ幅03mm未満 ひび割れ間隔0.5m程度	ひび割れ幅0.3mm以上 ひび割れ間隔0.5m未満	耐荷力に影響すると思われるひび割れがある。 主桁が落橋する様な大きな割れがある。				
43				剥離・鉄筋露出	部材無し	局所的な剥離が見られ鉄筋の露出があるが錆の発生は少ない。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出しているが腐食は軽微である。	主たる鉄筋(主筋、スターラップ)が露出し腐食が著しく断面の減少が見られる。	主たる鉄筋の全てが露出し腐食が著しく、耐荷力に影響すると思われる断面減少が見られる。				
44				漏水・遊離石灰	部材無し	損傷なし	ひび割れから漏水が生じているが、錆汁や遊離石灰はほとんどみられない。	ひび割れから著しい漏水や遊離石灰、僅かな錆汁が発生している。 (単なる水滴や漏水等による遊離石灰は除く)	内部鉄筋の腐食を表すような多くの錆汁が発生している。 発生箇所が広範囲で耐荷力に影響すると思われる鉄筋の断面減少が予想される。				
45		基礎	沈下・移動・傾斜	部材無し	損傷なし	沈下、移動や傾斜の疑いがある。	明らかな沈下、移動、傾斜現象が見られる。	落橋の恐れがある。					
46			洗掘	部材無し	損傷なし	軽微な洗掘がある。	比較的大きな(深く、長く、広い)洗掘現象が見られる。	落橋の恐れがある。					
53	その他			部材無し	損傷なし	損傷あり	—						上下流(起終点)部護岸のずれ等

チェックシート(損傷図)

点検項目	管理事務所		路線名		橋種		点検日														
	橋梁コード				橋長(m)		点検者														
	橋梁名				総径間数		点検径間番号														
備考および概略図	※その他損傷に対する記述、損傷スケッチ図、該当する写真番号を必要に応じて記入してください。※径間番号は、路線起点側を1番とする。但し、河川に架設されている橋梁は、上流側から見て左岸を1番とする。																				
	凡 例 <table><tr><td>ひび割れ</td><td></td></tr><tr><td>遊離石灰</td><td></td></tr><tr><td>剝離</td><td></td></tr><tr><td>漏水</td><td></td></tr><tr><td>鉄筋露出</td><td></td></tr><tr><td>豆板・空洞</td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td></td></tr></table>								ひび割れ		遊離石灰		剝離		漏水		鉄筋露出		豆板・空洞		その他
ひび割れ																					
遊離石灰																					
剝離																					
漏水																					
鉄筋露出																					
豆板・空洞																					
その他																					
点検結果の整理	損傷度の最悪値を記入(悪い順:A, B2, B1, OK)	損傷の総合評価(部材単位) コメント				備 考															
	路面																				
	伸縮装置																				
	高欄・防護柵																				
	排水施設																				
	その他付属物																				
	主桁																				
	横桁・縦桁																				
	床版																				
	下部工躯体																				
	基礎																				
	支承																				

チェックシート(損傷図)

点検項目	管理事務所	路線名	橋種	点検日
	橋梁コード		橋長(m)	点検者
	橋梁名		総径間数	点検径間番号
		〇〇〇線	本線橋	2010/2/1
	〇〇〇〇		100	三重 太郎
	〇〇橋		12	1

※その他損傷に対する記述、損傷スケッチ図、該当する写真番号を必要に応じて記入してください。※径間番号は、路線起点側を1番とする。但し、河川に架設されている橋梁は、上流側から見て左岸を1番とする。

備考および概略図

スケッチ図を描き、
損傷箇所を明記する

凡 例

ひび割れ	
遊離石灰	
剥 離	
漏 水	
鉄筋露出	
豆板・空洞	
その他	

点検結果を記

損傷度の最悪値を記入(悪い順:A、B2、B1、OK)		損傷の総合評価(部材単位)	コメント	備考
路面	B1	舗装のひび割れが伸縮装置付近で発生している。		
伸縮装置	B2	一部欠損をしている。		
高欄・防護柵	OK			
排水施設	B1	排水管が欠損している。		
その他付属物	B1	照明灯が腐食している。		
主桁	OK	ひび割れ幅が0.15mm程度で、下面、側面に見られる。		
横桁・縦桁	OK			
床版	B1	端部に漏水、遊離石灰が見られる。		
下部工躯体	A	橋台/パラペット部にひび割れがある。		
基礎	不明			
支承	B1	全体に腐食している。		

橋梁基本											
管理者		道路種別		路線番号		路線名		整理番号		整理番号	
基本諸元	(ふりがな)			橋梁コード		市町村名			大字小字名		
	橋名			分割番号							
	現旧新別			橋梁種別		橋梁分類			路面位置		
	上部工構造形式			架設年次		橋格			センサス年度		
	上部工使用材料			橋長(m)		現況			センサス番号		
	上部工床版形式			最大支間長(m)		耐荷荷重			自動車類交通量		
	下部工基礎			総径間数		設置箇所			大型車交通量		
	舗装種別			(単位 m)	全幅員	車道幅員	路肩幅員左	路肩幅員右	歩道幅員左	歩道幅員右	中央帯幅員
	適用示方書			幅員構成							
	緊急輸送道路指定			管理グループ		橋梁中心X座標			橋梁中心Y座標		
	架橋状態			備考							
概略側面図・断面図・平面図							全景写真1				

点検調書（1 / 1）			点検区分		（定期）・緊急		前回点検日				径間番号				上部工構造形式					
			点検方法		（目視）・調査		点検種別		（直営）委託・その他		支間長（m）				下部工構造形式					
橋梁名					橋梁コード				建設部名					路線番号						
					分割番号				道路種別					路線名						
点検日					点検会社名						点検者名						市町村名			
部 材（部 位）		前 回 点 検 の 評 価				代 表 的 な 損 傷 状 況 ・ 位 置 な ど の 概 要							損傷度 （最悪値）	健全性 （4段階）	写真 番号					
		点検区分	損傷度 （最悪値）	健全性 （4段階）	写真 番号	点検区分	記 事													
橋面工 （その他）	路面																			
	伸縮装置																			
	高欄 等																			
	排水施設																			
	その他付属物																			
上部工	主桁																			
	横桁・縦桁																			
	床版																			
下部工	下部工躯体																			
	基礎																			
支 承	本体																			
	アンカーボルト																			
	落橋防止システム																			
	モルタル																			
その他 部 位 （部材）	点検施設																			
	遮音施設																			
	照明施設																			
	添架物																			
全 体 損 傷 概 要											健全性	内 容								
											I	構造物の機能に支障が生じていない状態								
											II	構造物の機能に支障が生じていないが、 予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状								
											III	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、 早期に措置を講ずべき状態								
											IV	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が								
備 考																				

損傷スケッチ図（1/〇）

橋 梁 名		橋梁コード		建 設 部 名		路線番号	
		分割番号		道 路 種 別		路 線 名	
点 検 日		点 検 会 社 名		点 検 者 名		市町村名	

上部工 or 下部工損傷位置図

損傷写真集（1/〇）

橋梁名			橋梁コード		建設部名			路線番号		
			分割番号		道路種別			路線名		
点検日		点検会社名			点検者名			市町村名		
			写真番号					写真番号		
			径間番号					径間番号		
			部材番号					部材番号		
			損傷状況					損傷状況		
健全性		健全性								
備考		備考								
			写真番号					写真番号		
			径間番号					径間番号		
			部材番号					部材番号		
			損傷状況					損傷状況		
健全性		健全性								
備考		備考								

補修履歴調書（1/〇）	橋 梁 名	橋梁コード		建設部名	
		分割番号		道路種別	
		径間番号		上部工構造形式	
		支間長(m)		上部工使用材料	
項目	内容	損傷概要のわかる図面		損傷概要のわかる写真	
補修No.					
補修および改良年月日					
対象部材					
補修・改良理由					
損傷原因					
補修・改良工法					
工事費用（百万）					
適用示方書					
補修補強面積（m2）					
備考					
項目	内容	損傷概要のわかる図面		損傷概要のわかる写真	
補修No.					
補修および改良年					
対象部材					
補修・改良理由					
損傷原因					
補修・改良工法					
工事費用（百万）					
適用示方書					
補修補強面積（m2）					
備考					
コメント					

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度		
				経度		
(フリガナ)						
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者		点検責任者	
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁						
	横桁						
	床版						
下部構造							
支承部							
その他							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

点検時に記録			措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)		(再判定区分)	(再判定実施年月日)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造()【判定区分: 】	上部構造()【判定区分: 】
支承部【判定区分: 】	下部構造【判定区分: 】